

【実施報告書】

令和元年度 ジュニア・リーダー中級研修会

令和元年8月17日（土）～18日（日） 会場：志津川自然の家

今年度は、気仙沼市9人，南三陸町2人の合計11人が受講しました。

気温は30度を超え，暑い2日間となりましたが，11人全員は体調を崩すこともなく，無事修了証を手にしました。

初日の午前中は，宮城県子ども会育成会連合会の佐々木郁穂さんを講師に「子供の理解と成長」「ジュニア・リーダーの役割を考える」の2時間の講義がありました。その中で佐々木さんは，子供と関わる時のポイントとして，



子供と関わる時に大切なことは，

- ・「認めること（褒める，意欲を引き出す）」
- ・「話を聞くこと（受け入れる，考えを理解する）」
- ・「共感すること（楽しさ，悲しさ，悔しさといった感情を全て）」
- ・「視線を合わせること（安心感，親しみやすさ）」

の4つです。

そして，もし活動中に子供たちがけんかを始めたときには，いきなり「だめでしょう。」と叱るのではなく，まずはその子供たちから話を聞いてあげてください。その上で共感し，どうすればよかったかを一緒に考えてあげられるジュニア・リーダーであってください。子供は自分を認めてくれる大人に安心し，信頼を寄せるようになります。



【集団づくり活動(MAP)の様子】

と話されました。受講生も真剣な表情で，熱心にメモを取りながら聞いていました。

午後からの「集団づくり活動(MAP)」では，初めて出会った仲間達との交流のポイントを，志津川自然の家の小野寺かおり先生から教えていただきました。その後，「集団遊びやダンスの技能」を身に付けるために，南三陸町MVCぶらんこOBの須藤新太さんを講師に迎え，具体的な場面を想定した遊びの指導を，分かりやすく丁寧に教えていただきました。また，気合いの入った先輩のダンス指導に，最初は圧倒されていた受講生でしたが，時間が経つにつれて動きも良くなり，最後は大きなかけ声と共に，全力で踊る姿が見られました。

2日目は，「救命救急法」と「情報交換活動」を行いました。AEDを初めて扱う受講生もおり，もし本当に使う

場面に出会ったときにしっかりできるよう，真剣な眼差しで一つ一つの動きを確認していました。

情報交換活動では，現在所属するサークルの課題を付箋紙に書き出しながら，話し合いを行いました。同じような課題を抱えている仲間がいることに，自分一人ではないという安心感から，お互いに課題を解決するためのアイデアを出し合うことができ，とても有意義な1時間となりました。「正直，もっとゆっくり話したかった。」という感想も聞かれました。

1泊2日という短い時間でしたが，11人の受講生がそれぞれのサークルの中心となって，これからの活動を盛り上げていくことを期待しています。



【情報交換活動の様子】